くらしの情報ガイド アラカルト

お知らせ

◆平成18年度こばと聾学校幼児募集
日面接2月9日(木)9時30分～14時30分 人聴覚障害のある幼児(保護者付添いで通学できるかた) 内保育相談部(1～2歳児)・幼稚部(3～5歳児) 申1月16日～2月6日に右記へ 所&問こばと聾学校(☎0798-53-5061)

◆空閑地の適正管理にご協力を！
空閑地の管理が不十分では、「ゴミの不法投棄」や「蚊の発生」等でご近所に迷惑をかけます。所有者は定期的な手入れをお願いします 問生活環境部総務課(☎38-2050)

◆阪神福祉事業団嘱託職員募集
内福祉施設(知的障害児・者施設、救護施設、特別養護老人ホーム)の支援員等 人高卒以上(平成18年3月卒業見込み含む)で、社会福祉学等を専攻して卒業か保育士・福祉関係資格を有する昭和40年4月2日以降出生のかた。若干名 日試験日2月21(火)・22日(水) 申2月1日～15日(必着、土・日・祝日を除く)に下記へ 問阪神福祉事業団(☎078-903-1661)

催し

◆児童センターの催し
所&問上宮川文化センター(緯22-9229)
【子育てリフレッシュデー】
日1月18日(水)10時～11時30分 人小学生までの保護者、先着12人 内バドミントン 申1月17日(火)10時～電話で上記へ
【あそびひろば】
日1月19日(木)14時～15時30分 人1・2歳児と保護者、先着16組 申直接会場へ

◆チューリップのお洒落アレンジ
日1月20日(金)13時～15時 所緑の相談所 人先着18人 師緑の相談員 費3,000円 申1月17日(火)までに右記へ 問都市整備公社みどりの課(緯38-2103)

◆作って食べよう世界の料理
日1月21日(土)10時～14時 所市民センター料理室 内コスタリカ編(魚のスープ・フリホーレス等) 人24人(要予約)男性歓迎 師マルコ・ヴィニシオ・モンヘ・コレーヤ氏 費1,500円(非会員2,000円)、前日・当日キャンセルは材料費1,500円を負担 持エプロン、食器用ふきん 申&問国際交流協会(☎34-6340)

◆阪神南地域夢会議
日1月24日(火)13時30分～16時30分 所尼崎市女性センター3階トレビエホール 内講演「地域資源を活かしたまちづくり」えひめ地域づくり研究会議代表運営委員・若松進一氏、ディスカッション等 人150人 申1月20日(金)までに下記へ 問阪神南県民局地域ビジョン担当(☎06-6481-8061)

◆犬のしつけ方1日教室
日2月2日(木)13時30分～15時30分 所商工会館2階会議室(公光町) 人生後5ヵ月以上の犬と飼い主のかた(狂犬病予防注射と混合ワクチンを1年以内に接種していること) 人10組 費500円 申はがき・ファクスに、住所・氏名・電話／ファクス番号・メールアドレス、犬の名前・種類・年齢・性別)を明記し、1月26日(木)までに右記へ 問動物愛護協会事務局(☎38-2033/FAX38-2176 〒659-8501 経済課内)

◆冬の親子星空観察会
日1月28日(土) 18時30分～20時 所市民センター403室 人親子、先着25組 申1月27日(金)までに電話で下記へ 問生活環境部総務課(☎38-2051)

講習・講座

◆「源氏物語」原典を読む講座
日1月23日(月)10時～12時<全3回> 所市民センター301室 師京都橘大学教授・鈴木紀子氏 費2,400円(3回分) 申直接会場へ 問谷崎潤一郎記念館(緯23-5852)

◆芦屋大学「公開国際市民講座」
日1月28日(土)14時～15時30分 所芦屋大学国際会議場 内「タイと日本－過去・現在・未来」スポット・イサラーングーン・ナ・アユッタヤ総領事(英語による講演・通訳つき) 人先着200人 申&問1月25日(水)までに住所・氏名・電話番号を記入し、メール・ファクス・はがきで、芦屋大学国際交流センター(☎/FAX 38-6710/メール:kokusai@ashiya-u.ac.jp 〒659-8511 六麓荘町13-22)へ

◆谷崎潤一郎作品朗読会
日2月2日(木) 13時30分～15時 内痴人の愛⑦ 出朗読グループRST 費入館料300円 申直接会場へ 所&問谷崎潤一郎記念館(☎23－5852)

納期

個人市民税・県民税(第4期分)
／課税課市民税担当(緯38-2016)
法人市民税・事業所税(11月30日決算の法人等) ／課税課管理担当(緯38-2015)
国民健康保険料(第7期分)
／保険年金課保険担当(緯38-2035)
介護保険料(第7期分)
／高年福祉課介護保険担当(緯38-2046)

課税課からのお知らせ

◆市税の納付は便利な口座振替を！◆
申込用紙に必要事項を記入・押印し、ポストに投かんするだけです。申込用紙は市内銀行・郵便局窓口・市課税課にあります。新年度から市税の口座振替をご希望のかたは、下記期日までに市課税課へお申し込みください。期日以降に申し込まれた場合、一括納付の振替は平成19年度からとなり、各期納付の振替は平成18年度第2期からの開始となります。

固定資産税・都市計画税	3月27日
軽自動車税	4月25日
個人市民税・県民税(普通徴収)	5月25日

問い合わせ 管理担当 ☎38-2015

◆給与支払報告書の提出◆
事業主は、平成18年1月1日現在で在職されているかたの給与支払報告書を、1月31日までに、受給者の1日1日現在の住所地の市役所等へ提出してください。
問い合わせ 市民税担当 ☎38-2016

◆償却資産の申告について◆
平成18年1月1日現在、市内に償却資産(機械、器具、備品などの事業用の資産)を所有されている場合、1月1日現在の資産の状況を1月31日(火)までに提出してください。申告書の用紙をお持ちでないかたは下記まで。
問い合わせ 固定資産税担当 ☎38-2017

毎月20日は
「阪神地域ノーマイカーデー」
電車やバスなどを利用しましょう

あしやにまつわる歴史と美術

【歴史部門】考古から近世・近代へ
【美術部門】小出楢重・吉原治良から「こんな画家も芦屋に！」

今回の常設展示は、現在の美術博物館運営形態による事業の最後にあたります。16年間の活動から知りえた「未知の芦屋」をかたちにして展示します。

《会 期》 2月4日～3月5日<休館・月曜日>
午前10時～午後5時(入館4時30分まで)
《観覧料》 一般300円、大・高生200円、中学生以下無料

小磯良平「踊り子」1939

講演会

■日時 2月5日(日)午後1時30分～3時30分 ■会場 美術博物館 ■講演 「あしやの歴史・あしやの美術」 ■講師 河崎晃一学芸課長、明尾圭造歴史学芸係長 ■定員 先着50人 ■申し込み ファクスで美術博物館へ

問い合わせ
美術博物館 緯38-5432/FAX38-5434(伊勢町12-25)

◆税務関係の申請書等(一部)が市のホームページからダウンロードできます◆
http://www.city.ashiya.hyogo.jp/download/index.html
問い合わせ 課税課管理担当 ☎38-2015

"会下山遺跡発掘"50周年

2000年前の弥生の世界にタイム・トラベル

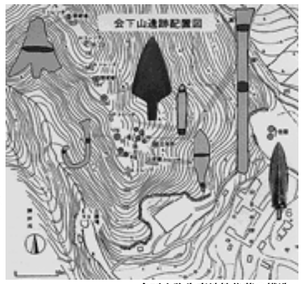
問い合わせ
生涯学習課 ☎31-9066

今年は高地性集落の代表として全国的によく知られる会下山遺跡の発掘調査から、ちょうど50周年になります。市では、この記念すべき年を迎えるにあたって、市民の皆さんに、会下山遺跡の学術的・文化的な価値を知っていただき、さらに身近にある文化財として活用していただけるように、「会下山遺跡発掘50周年記念事業」として、記念講演会・市民講座・展示会などを予定しています。
市民の宝の一つである会下山遺跡を市民の皆さんにより一層ご理解いただき、後世の芦屋市民へと伝えていきたいと思います。

会下山山頂での発掘調査風景(昭和33年)

■会下山(えげのやま)遺跡って？

市内三条町の市立山手中学校の裏山には、全国に名高い会下山遺跡があります。昭和31～36年の数ヵ年、本市教育委員会が村川行弘・石野博信両氏を担当者として学術的な発掘調査を実施しました。遺跡はその後、重要性が認められ、兵庫県史跡第1号に指定されました。住まいの跡には芝を張り、高床倉庫などが復元され、歴史教材園として、今でも広く市民の憩いの場となっています。



会下山弥生高地性集落の構造

■本年度は記念の年

本年度は、この遺跡の発掘調査が開始されて50年目という記念すべき年に当たります。当時は兵庫県や芦屋市の文化財保護行政のあけぼの期であり、手探りの状況の下、山の上での困難な発掘が行われました。

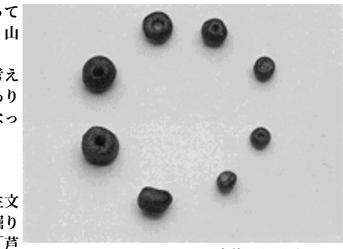
■高地性集落とは

会下山遺跡は、標高160～200mの山頂部にムラの跡がみつかったことから、「高地性集落」と呼ばれています。高地性集落は、考古学の上でその性格や歴史的役割などが大変注目されているもので、これまでに教科書や啓蒙書など多数の書物に紹介されています。

■遺跡の発見

会下山遺跡は、山手中学校の植物実習園づくりの造道工事によって初めてみつかりました。山の急斜面から大量の弥生土器が出土し、山の上にも弥生人の生活の舞台があったことが推測されました。

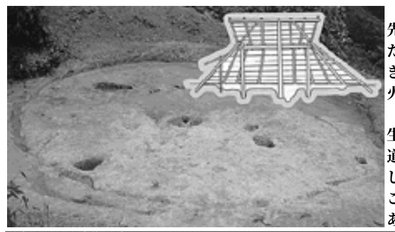
当時の考古学界では、弥生時代は低地で水田稲作をしていたと考えられており、山の上の遺跡を掘ることは非常識との考えも根強くありました。そのため、長期間にわたる地道な調査は大変苦労がともなったといわれています。


2000年前のガラス玉

■「芦の芽グループ」の誕生

地元の大学生や子供たちが"わがまちの祖先"の暮らし向きや弥生文化の謎を解くため、大勢この発掘調査に参加し、情熱を燃やして掘り続けました。その若人たちは、やがて青少年文化財愛護団体である「芦の芽グループ」を作り、調査・研究の民間活動を開始しました。

■ムラのリーダーの家


発掘された竪穴住居跡

弥生時代の竪穴住居跡の発掘例としては、近畿地方でも先駆的なものであり、全部で7棟程の建物がみつかりました。その中には、ムラのリーダーが居住したとみられる大きな家もありました。その他、祭場が2カ所、倉庫や墓、火たき場やゴミ捨て場などもみつかりました。

リーダーの家には、磨製石鏃・銅鏃・鉄斧など、武器や生産用具が備わっていました。この家は、大阪湾や紀伊水道を眼前に眺め、東は生駒の山並や千里丘陵を望む見晴らしの良い場所に立地し、その住人は40人位の人々を率いてこのムラの運営にあたったようです。祭場は最高所に2つあり、サルボウ貝やマジカルな石製品が出土しました。

■青銅器は中国の漢から舶来

出土遺物は日常の生活に使われた土器類が多く、壷・甕・高杯・鉢・器台と用途にあわせ形が分けられています。石器には打製の石鏃・石錐・刃器・磨製の片刃石斧・石鏃・石剣があり、砥石やたたき石・石弾なども出土しています。

青銅器の中には、中国の漢からはるばる海を渡ってやってきた三翼鏃などもみられ、舶来の中国文物として貴重な存在です。鉄器は石の道具よりずっと進化したもので、会下山からは20点以上が出土。ヤリガンナ・ノミのほか、斧や釣針も認められます。周辺地域との交流を示すものも多く、遠く大阪平野で使われていた土器等ももたらされています。発掘後、作られた復元住居では、参加者が炉を囲んで一晩寝泊りしましたが、これも当時としては初めての体験学習だったのです。

磨製石鏃・漢式三翼鏃 古代芦屋人の宝物

復元住居内で弥生人気分で生活体験する調査員たち(昭和35年)

■会下山遺跡と弥生時代

高所に立地する会下山遺跡は、どのようなムラだったのでしょうか。これまでの研究では、多種多様な性格や役割が考えられてきました。次に発掘調査でみつかった生活跡や出土品から、会下山ムラでの暮らしやその役割について考えたいと思います。

■会下山ムラでは、何を食べていたのでしょうか？

弥生時代といえば稲作や米を連想しますが、会下山遺跡でも出土土器の表面に籾の痕跡が確認されていることから、米を食べていたと考えられます。ただし、山のムラである会下山遺跡の周辺では水田をつくることができないので、米の入手は大変なことだったと思います。一方、会下山ムラの周りに広がる山林では、当然、木の実などの採集やイノシシをはじめとする鳥獣を狙った狩りが行われたことでしょう。このことは、木の実を調理するのに用いる磨石や、矢の先に着ける鏃などが出土品にみられることから確認できます。また、鉄製釣針やイイダコ壷などの漁労具が出土していることから、山のムラであるにもかかわらず、海まで出て漁をしていたことが明らかとなっています。サンドペーパー代わりに用いた軽石も存在し、おそらく木製の容器なども作っていたようです。

■見張り台的なムラ？

鏃を狩猟の道具とは考えずに、武器とする説の方が実は有力です。鏃には、鉄製や青銅製、石製のものがあり、これらを対人用の武器と考えると、会下山ムラは多量の武器を保有していたということになります。軍事色を強く帯びるので、山中にあることとも関係して、戦争に備えた逃げ城的なムラという説もあります。

さらに、火たき場の機能からも戦争に関連付けられています。この火たき場は、発掘の時には屋外調理場と推測されました。一方では、ノロシ台の跡という考えも出され、会下山ムラが、敵の襲来などを監視し、狼煙により緊急事態を周辺のムラに知らせる見張り台(通信施設)の役割を担ったとする解釈が加わっています。これらのことから、会下山遺跡が争いの多い緊張した社会に生まれたムラであったというストーリーも描けます。しかし、これも一つの解釈であって、まだまだわからないことばかりです。

■日本史の中の会下山遺跡

このように、会下山遺跡の性格は弥生社会のイメージづくりに大きな影響を与えています。今後、会下山遺跡に関わる数多くの謎が一つでも解明されれば、弥生社会全体の復元像が大きく変わることは間違いありません。この遺跡は日本の歴史を考える上にもとても重要な存在です。

お気軽にご利用ください

ラポルテ市民サービスコーナー

■窓口ご利用時間
平日(月～金曜日) 午前10時～午後7時
土・日・祝日 午前10時～午後5時
■休業日 2月9日(木)・2月16日(木)
■交付内容 住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本・市民税県民税課税証明書・固定資産課税台帳記載事項証明書等
【ご注意】土・日・祝日と、平日の午後5時15分以降、戸籍謄抄本・税務証明等は取り次ぎで発行します。各種届出・登録の手続きは、市役所市民課へ。

問い合わせ
ラポルテ市民サービスコーナー 緯31-3130

「下水」の水質検査結果 下水処理場 緯32-1291

試験項目＼試験日	平成17年11月29日		平成17年12月2日		活性汚泥法処理による基準
天候	晴れ		曇り		
気温	16.9℃		12.0℃		
検水名	流入水	処理水	流入水	処理水	
水温(℃)	20.5	22.4	20.9	21.8	
PH	7.4	6.7	7.6	7.1	5.8～8.6
SS(葵/濁)	83	10	110	9	70以下
BOD(葵/濁)	126	6.6	171	14	20以下
大腸菌群数(個/悪)	83,000	0	34,000	0	3,000以下
備考	前日 前々日	晴れ 晴れ	前日 前々日	晴れ 晴れ	

用語の説明【PH】水素イオン濃度。酸性度を示し7が中性。7より大きいほどアルカリ性が、小さいほど酸性が強い【SS】不溶性の固形物。水質汚染の原因になる【BOD】生物化学的酸素要求量。数値が高いほど有機物が多い。

ルナ名画劇場 マラソン(韓国映画)

■日時 2月25日(土)①午前9時50分②午後0時30分③午後3時(上映時間1時間57分) ■会場 ルナ・ホール<全席自由> ■内容 韓国で500万人を動員する大ヒットとなった、実話を基にしたチョ・ユンチョル監督映画。自閉症の障害をもつチョ・ウォンは、身体は20歳だが心は5歳の走ることが大好きな青年。そんな彼がフルマラソンを健常者でも困難な2時間台で完走。この快挙の陰には、20年間借しみない愛情を注ぎ見守り続けた母の姿があった。 ■出演 チョ・スンウ、キム・ミスク、ペク・ソンヒョンほか ■料金 900円(当日1,300円)※60歳以上・障がい者のかた・この記事持参のかた1,000円、小中高校生700円(当日券のみ) ■チケット発売所 モンテメール大蓄、市役所売店、文化振興財団事務所(市民センター内)

問い合わせ 文化振興財団 緯31-4962

公民館音楽会 六車 智香 おしゃべりコンサート

六車 智香

～冬の歌、愛の歌～
■日時 2月4日(土)午後2時30分～4時10分 ■会場 ルナ・ホール ■出演 六車智香(ソプラノ)／金子正樹(ピアノ) ■曲目 「初恋」「歌に生き恋に生き」ほか ■参加費 500円 ■定員 先着600人 ■申し込み 直接会場へ

問い合わせ 公民館 緯35-0700

水道まめ知識

Q 冬になり冷え込みが厳しくなりますが、水道管を凍らせないようにするにはどのようにすればよいでしょうか？ また凍ってしまったときはどうすればよいでしょう。

A 寒さ厳しい時期となり水道管も「凍結等の防止対策」が必要になってきます。水道管が屋外でむき出しになっている所、北向きの場所にあり風が強くあたる所は特にご注意ください。気温が氷点下になると予想される夜は特に注意が必要です。

①水道管を凍らせないようにするには
むき出しの水道管には布切れや毛布などを巻いてその上からビニールなどを巻いてください。このとき蛇口もいっしょに巻くほうがよいでしょう。これらがぬれないようにしてください。またメーターボックスの中にも使い古しの毛布や布切れなどを入れて水道メーターを保温してください。長期間留守にする場合はメーターボックスのバルブを閉めてからお出かけください。

②水道管が凍ってしまったら
蛇口を閉め、気温が上がり自然にとけるのをお待ちください。お急ぎの場合は、タオルなどをかぶせ、その上からゆっくりとぬるま湯をかけてとかしてください。直接熱湯をかけると破裂するおそれがありますのでご注意ください。

③水道管が破裂してしまったら
まずメーターボックスのバルブを閉めてください。バルブの場所がわからない時は、破裂した部分に布かビニールテープをしっかり巻いてから、水道部工務課維持担当または、芦屋市指定給水装置工事事業者に連絡してください。(修理代は各自の負担となります)

問い合わせ 水道部工務課 ☎38-2083